

電気工学科			哲学B				
学年	第5学年	担当教員名	藤本 一司				
単位数・期間		1単位	後期	週当りの開講回数	1回	必修選択	学修単位3
授業の目標と概要		争いを最小化し、共同体を存続させる力としての倫理を学ぶ。					
		釧路高専目標	A:100%		JABEE目標	a	
履修上の注意 (準備する用具・前提となる知識等)		毎回全員に発言の機会がありますので、予習が必要です。					
到達目標		「わかる」ことにも「わからない」ことにも、その両極に振り切れてしまうことのない倫理を理解できる。					
成績評価方法		定期試験 60点以上 合格 定期試験:100%					
テキスト・参考書		教科書:藤本一司『倫理学への助走』(北樹出版) 参考書:内田樹『ためらいの倫理学』(角川文庫) 藤本一司『愉しく生きる技法』(北樹出版)					
メッセージ		身体に問いかけながら、議論ができればと思っています。					
授 業 内 容							
授業項目			授業項目ごとの達成目標				
前期中間試験			実施しない				
前期期末試験			実施しない				
「うぬぼれ」と「無意識」(2) 善悪について(3) 決着済みの倫理について(2)			無意識を可能性として捉えることができる。 排除ではなく、受け容れることの意味を理解できる。 「規範としての倫理」の限界を理解できる。				
後期中間試験			実施しない				
倫理と未知性(4) 私の解体と再生(4)			責任と未知性の関係を理解できる。 受動性が主体性を立ち上げるという隘路を理解できる。				
後期期末試験			実施する				